



日々を振り返りながら

私は、凄く小心者なので、自分の意見や行動・発言に対して間違えたり失敗をしたりしない様に気を付けています。また、物事をネガティブに考えやすいので、ネガティブな考えで終わらない様に「良し！これで大丈夫だ！」と感じられるまで、様々な筋道や理屈を考えてポジティブなイメージを作り上げています。

小学生の頃はそんな事も考えずに無邪気に過ごしていた様に感じますが、中学生になって様々な環境が変わった事や、自分も周りも他者との比較による評価が多くなってきた事も影響をしていたのだと思います。中学生の頃が一番ピークで、高校生の頃もそれを引きずってしまい、自信が無い自分をごまかして見たりして向き合っていなかった様に感じます。

「自分の意見を持つためには、自ら動いて自分の考えを掘り下げ、言葉にしなければならぬ。」

これは、そんな高校生の時代に出会ったニーチェの言葉です。

それまでは、何か借り物の言葉や上辺の言葉で自分自身をごまかしていた事を、行動⇔思考の繰り返しの中で、徐々に自分の考えや言葉をまとめて行った時に、初めて気持ちが楽になった事を覚えています。

だからと言って、何か物理的に解決をした訳ではありません。前に進む為のきっかけ作りが出来ただけでした。でも、それが一番大切だったのだと思います。

先日、職員と支援会議からの帰りの車の中で様々な話をしていたのですが、その中でとある子どもの「こだわり」の話になりました。その子は、いつも特定の場所に居る事が多いのですが、私たちはその子が「その場所を好きだから居る」と考えています。でも、果たしてそうなのでしょうか。もしかしたら何か嫌な事を回避する為に居るのかもしれませんが、もしくは、知らず知らずの内に大人がそこへ誘導をしてしまっている可能性もあります。私たちは、子どもを決めつけない様にしながらも、気が付かない内に子どもを「私たちの考えの型」にはめてしまう事もあります。

言葉は思考や感情の全てを表現出来ません。そもそも、言葉が苦手な子もいます。自分の考えがその子を型にはめてしまっていないか。時々、支援の中で様々な事を試したり、職員と子どもの話をしたりして考えて行くのですが、明確な答えが出る訳では無いので、奥が深いと感じる日々を過ごしています。

児童通所課 嵯峨憲司

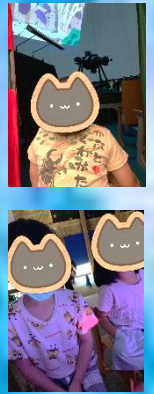


キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ狭山活動報告



夏祭り週間ではストラックアウトや、ヤカンカーリング、お菓子釣りなどの活動をを楽しみました。おやつにかき氷も食べました。その後恒例の「はらぺこあおむし」実写版上演会では、回を重ねて職員だけでなく沢山の子どもが参加して演じてくれるようになっています。夏休み、活動へのご準備、ご協力等ありがとうございました。



にじいろ入間活動報告

ぷるぷる石鹸作り
作る工程は職員と確認しながら工程を間違える事なく作成が出来ました。着色の際に入れる量で色が変わるので光加減が違うのでキラキラに皆さん喜んでくれる様でした。おやつ食べる前には自分で作成した石鹸で手を洗っています。



教材紹介



シャツの着脱

ボタン付きの洋服(Yシャツ、制服)をひとりで着脱することを目的としています

段階として、大きめのボタンと少し緩めのボタンホールのベストを使用して練習をしていきます。実際に着て行うことでボタンをはめていく感覚を養います。鏡などを使って、ボタンとボタンホールの位置など一緒に確認しながら進めていきます。段階を踏んで、少しずつYシャツに移行していきます。

